

リレー記事 No. 24

プラスチック分別をきっかけに

先日「新海面処分場（東京）延命のためプラスチックを焼却することになった」という記事を読みかけ、東京23区のごみ処理事情を調べてみました。現在は焼却不適物としてガラスや金物等と一緒に袋に入れて収集・埋め立て処理しているプラスチックですが、もし焼却処分すれば最終処分場を30年～50年延命できるのだそうです。

そこでプラスチックの処理は各区の創意工夫に任せることとなり、23区のうち13の区が何らかの形でプラスチックの資源化に取り組み始めました。

例) 新宿区



振り返ればプラ分別を始めて早8年、手間がかかって嫌になることもありましたが、いつのまにか可燃ごみ袋がミニになり、家族はみな「小さなレジ袋は断る」が当たり前になりました。大都市の人がプラスチック分別をきっかけにして「ごみ」と出会い、「ごみ」と向き合うことを通じて自分のライフスタイルに関心を持つ人が飛躍的に増えるのではと、期待が膨らみます。

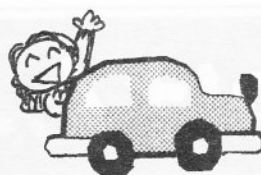
ウェブでみつけた「リサイクル」の目的に、こんなものが挙げてありました。

- 大量廃棄型消費文明への警鐘
- 市民のマインドセット^{*1)}の変更
- 雇用の創出
- 自治体の収集作業の経済効率を高める

自治体の廃棄物処理コストは明らかにされていないことが多いけれど容器包装リサイクル法をきっかけに透明性が高まり、収集コストが改善されることが期待されるとも書いてありました。企業と市民と行政それぞれが「ごみと向き合う」ことで変化しつつあるようです。

^{*1)} 行動の開始から目的の達成までのプロセスに特徴的な、認知・思考状態

研修報告



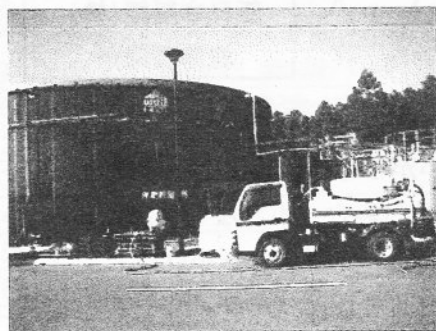
11月18～19日

秋の恒例となりました視察研修へ行ってきました。

1 日目は過疎化により廃校となった甘木市旧黒川小学校を活用し、2001年にオープンした山里の美術館『共星の里』へ行きました。校庭では大きな銀杏の木が金色に輝き、懐かしい作りの木造校舎が迎えてくれました。改装された内部は、作り手の伝える思いがギュッと詰まって山の中に不思議なアート空間を作り出していました。まさに、思いをかたちにする展示を見ることができました。



2 日目は、大分県大山町に1990年“農業者によるバザール”と銘打ってオープンした『木の花ガルテン』を見学しました。一般に農協は、作るのには上手いが売るのが下手といわれています。ですがこの大山農協は、売る為の方策を設計・実行し、成功している農業が元気な町です。平日にもかかわらず、館内は多くの人でにぎわい、とても活気がありました。



午後は『日田市バイオマス資源化センター』を見学しました。家庭から出る生ゴミ・畜産の糞尿・焼酎醸造工程で出る酒粕など有機物をメタンガス発酵させ、発電や堆肥化を行っている施設です。こちらのセンターは生ゴミの焼却量を減らす目的で建設されており、現在日田市民が出す生ゴミのほとんどは、焼却されずにこちらの施設で処理（1日に約60t）されているそうです。日田市はISO14001を取得しており、このセンター

以外にも小・中学校、公共施設での太陽光発電設置や、民間運営での木質バイオマス発電等環境対策に取り組んでいます。また、同時に市民の環境意識を高める取り組みも積極的にされています。生ゴミの投入が必須のこの施設を運営するにあたり、人口約74,000人の市民が生ゴミ分別を実践している事は驚きでした。処理後、出来た堆肥は無料で市民に分け、液肥は契約農家で試用してもらっているそうです。

それぞれの場所で自分達の思いを伝える為の工夫や仕掛けを見ることができ、実りの多い研修になりました。充電できた事を今後の活動に生せればと思っています。

事務局より

- 今回、不要の紙をいただき、エコけんニュースを印刷しました。

新企画



MYエコ宣言 ~Vol.1 中村隆象氏~

これから毎号いろいろな方に「MYエコ宣言」をインタビューし、紹介していきます。
どんな方が、登場されるか乞うご期待！まずは、古賀市長「中村隆象氏」です。



Q. 関心のある環境問題 地球温暖化

Q. 実践しているエコ行動 市庁舎の冷暖房設定温度

10万本の緑の植樹

電気を消す・公共の乗り物を使う

Q. おすすめエコ行動 マイバッグ(車の中に常備)

自分で買い物(お酒とかパンとか)

にこにこ時間オーバーして環境問題を熱く語っていただきました。この思いが広く
市民に広がればいいなあと市長室を後にしました。

次回は福津市市長 池浦順文氏です。

MYエコ宣言 電気をつけっぱなしにしません

エコけんニュース100号記念イベント(11/10)報告

参加者は少なかったのですが、エコけんを知ってもらうきっかけになりました。
次回、200号を目指してがんばります。

第1部 13:00~15:00 養父信夫氏講演会~伝えるコツ~

「伝えるコツ」というよりは、「ムラ」と「マチ」をエコツーリズム
で「つなぐ」という話に終始しましたが、養父氏の熱い思いを聞
くことができました。

第2部 15:00~16:30 工場見学~お団子食べてウォッシュアップ

楽しくエコロ体験してもらいました。



活動報告

日	自主活動	エコの森ステーション活動
10/1	定例会議	エコ環境教室《小学校》 教室会議 ポラ育成会議 展示会議 運営会議
3		リメイク教室(古布わらじ)
7		第3回エコまつり
9		エコ環境教室《市民団体》
10	福津市Eショップ推進委員会出席	エコエコクッキング(継続教室)
12	福津市環境リーダー-養成講座講師	筑紫台高校へ古Tシャツ寄付発送
16	ニュースレター30号配信	エコワークショップ エコ環境教室《中学校》
17	省エネルギー普及のための人材研修講師	エコなウォッシュアップ
18		開発活動
19	連携教室(古賀西小)	エコ環境教室《小学校》
20		MY企画受付終了(9/20~)
23		エコ環境教室《小学校》 ポラ会(エコエコクッキング)
24		エコエコクッキング(託児付き) エコ環境教室《事業者》
25		リサブラ掲示
26	連携教室(古賀西小) 岡垣町教育委員会市民講座出席	エコニュース99/100号発行 ほっとちやっと 53号発行
29	古賀市環境審議委員会出席	
30	エコニュース100号新聞折り込み配布	MY企画
31		エコ環境教室《小学校》 ビギボラ会
11/1		エコ環境教室《高校》 開発活動 MY企画
6		エコ環境教室《事業者》 MY企画
8	福津市Eショップ推進委員会出席	ピンゴ研 MY企画 MY企画担当者会議
9	安全衛生委員会(小集団教育)参加 福津市環境リーダー-養成講座講師	教材貸出(小学校) MY企画 MY企画担当者会議
10	エコニュース200号記念イベント	展示品貸出(小学校)
12	定例会	教室会議 ポラ育成会議 展示会議 運営会議
13		MY企画
14		エコエコクッキング(継続教室)
15		リメイク教室(ペットサージュ)
16	ニュースレター31号配信	
17	古賀市環境シンポジウム参加	エコ環境教室《行政》 MY企画
18	アート活動・施設見学研修	
19	ムラ作り・環境施設見学研修	
20		エコワークショップ エコ環境教室《事業者》 交流会
21		エコなウォッシュアップ
22		リメイク教室(廃油石けん) MY企画
27		MY企画
28	NPOセミナー参加	MY企画 エコエコクッキング(託児付き)
29	MY工宣言取材	エコ環境教室《学校》 リメイク教室(ペーパータペストリー)
30		MY企画 ほっとちやっと54号発行

思いを形に

特定非営利活動法人

NPOエコけん

連絡先 〒811-3121 古賀市篠内1970-1 玄界環境組合古賀清掃工場 再生・展示棟

TEL/FAX 092-944-3012 MAIL ADDRESS eco_ecoken@ybb.ne.jp HP ADDRESS <http://www10.ocn.ne.jp/~ecoken/>